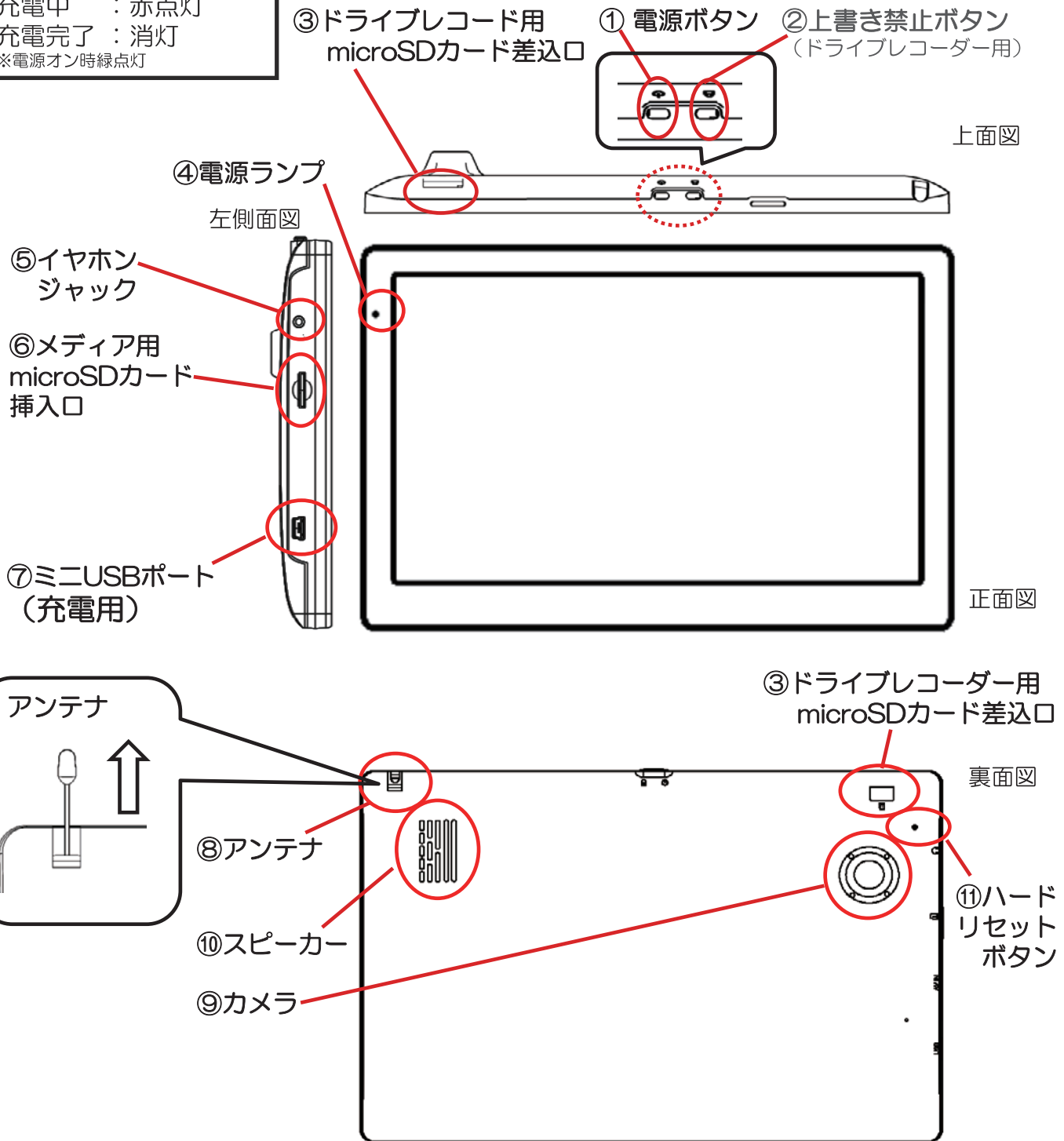


5. 各部の名称

電源ランプについて
充電中 : 赤点灯
充電完了 : 消灯
※電源オン時緑点灯



<注意>

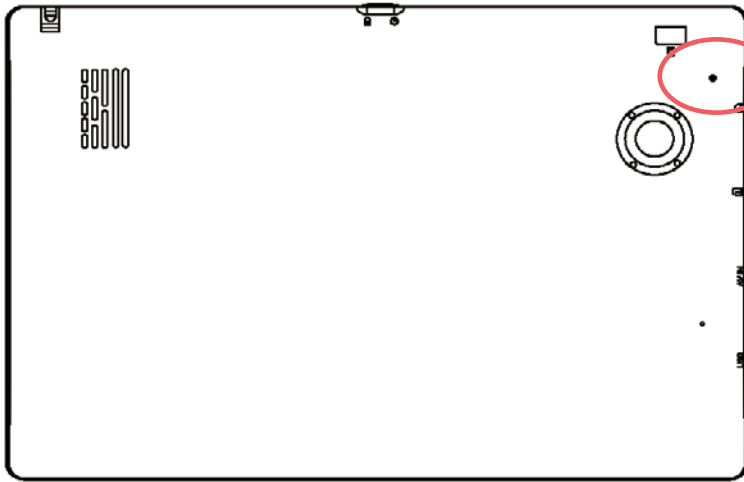
MicroSDカード挿入口が2ヶ所あります。入れ間違いの無い様、十分に注意願います。

メディア用MicroSDカードをドライブレコーダー用挿入口に挿入するとメディアデータが消去されることがあります。

6. リセット機能

【ハードリセット】

本機になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、細いペンやクリップ等でハードリセットボタンを軽く押し、リセットを行ってください。



ハードリセットボタン

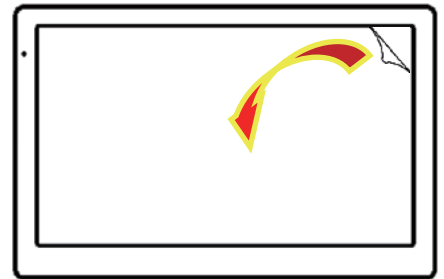
※メニュー操作中や地図表示中になんらかの原因で画面がフリーズしてしまった場合は、かならず上記のハードウェアリセットを行ってください。

パネルの保護シート（フィルム）について

出荷時に液晶パネル面に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護シートが貼られています。

ご使用になる際は、
剥がしてお使いください。

貼ったままにしていると、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。



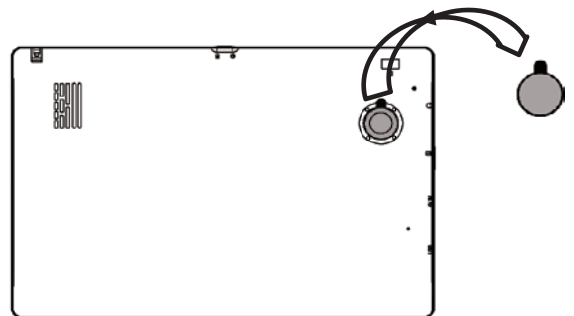
保護シートをはがす。

カメラレンズの保護シート（フィルム）について

出荷時に裏面のカメラレンズ部に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護シートが貼られています。

ご使用になる際は、
剥がしてお使いください。

貼ったままにしていると、録画画面が曇ったり、ゆがんだりします。



保護シートをはがす。

7. 車への取付け

前方視界基準について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

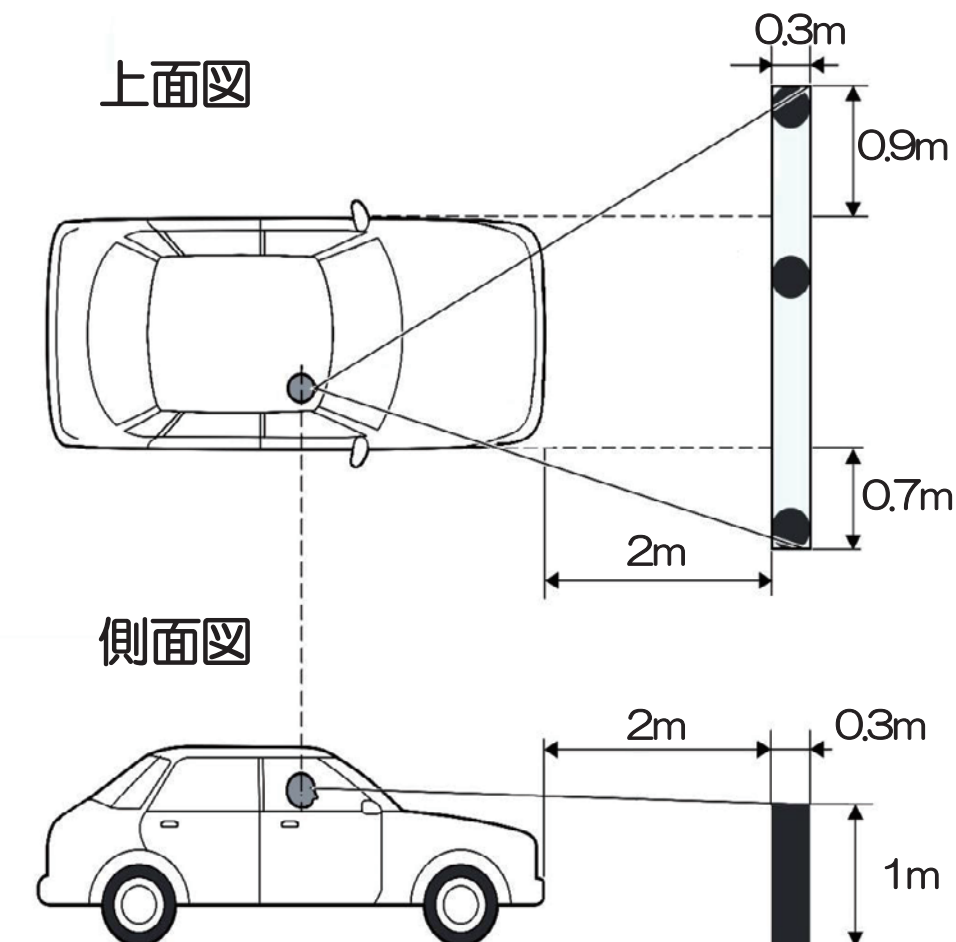
前方視界基準

●対象車両

専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

●基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したものを）を鏡等を用いず直接視認できること。



※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

取付けについてのご注意

- 付属のスタンドを使用してください。
- エアーバックカバー部及び作動時の妨げになる場所には取付けないでください。
(取付けについては安全を考慮して、ディーラーや販売店にご相談ください。)
- フロントガラスには取付けないでください。
- スタンドを取り付ける際は、凹凸の無い平らな面をお選びください。
- 柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
- 下記のような場所には取り付けないでください。

※スタンドが落下するおそれがあります。

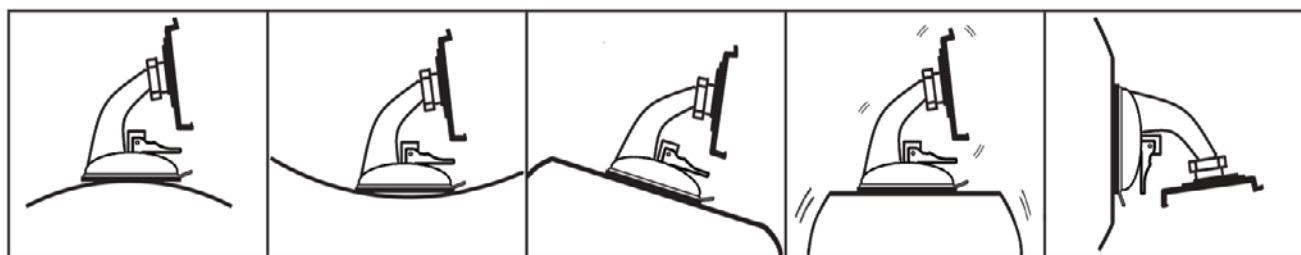
・密着しない曲面
例)凸面

・密着しない曲面
例)凹面

・傾いた面

・不安定な面

・垂直な面



- ダッシュボード上に吸着ベース板を貼る際は、**前方視界を十分に確保**でき
安全基準を満足できる位置を決定後貼り付けてください。
- 吸着ベース板を貼り付ける前にワンセグTV用アンテナを伸ばしフロントガラス
等にあたらないことを確認してください。
- 吸着ベース板を貼付け位置が決定したら、貼付け面のほこりや油分などを十分に
ふき取ってから貼り付けてください。
- 両面粘着テープの貼付けは一回のみです。**貼り直しはしないでください。**
(貼付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。)
- 両面粘着テープは貼付け直後は接着強度が弱いため、24時間以上おいてから
製品を取り付けてください。
- 両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、
貼付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- ご使用になるまえに、吸盤、ロック、粘着テープ等が**確実に取付いていることを
確認**してからご使用ください。
- **直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。**
発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。
- ドライブレコーダーを使用されるときは、ドライブレコーダーモードにして
映像範囲と画面の視認角度を調整の上、設置位置をお決めください。

《注意》

ダッシュボードの上など直射日光の当たる高温になる場所でご使用になる場合
ご使用にならないときは外して高温にならないところで保管してください。
また、長時間車から離れる場合は本体をホルダーから外し保管してください。
落下による故障の原因になる場合があります。

スタンドの取付け方法

運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付位置を決めます。

①吸盤ベース板の貼付け

貼付面のほこりや油分などをきれいにふき取り、両面テープの台紙をはがし取付面に強く押し当てる。
(貼付け後は24時間以上置いてください。)



②スタンドの組立て

・デバイスホルダーの4個の穴にスタンドのフック部を入れる。

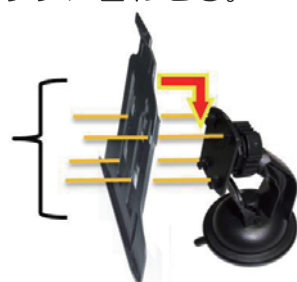
・スタンドのフック部にカチッとロックするように、デバイスホルダーを矢印の方向に両手でスライドさせる。

※デバイスホルダーは強度上ロックを強くしています。スライドさせる際は強め押してください。

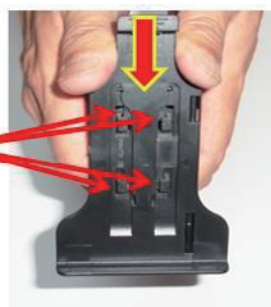
※デバイスホルダーとスタンドが組立てて納入されている場合は、フック部がしっかりロックされていることを確認下さい。

※デバイスホルダーをスタンドから外してお使いの際は、逆方向に両手でスライドさせてはずしてください。

ホルダーの穴をスタンドのフックに合わせる。



デバイスホルダーを矢印の方向にスライドさせる。



スタンドのフック部



③スタンドの固定

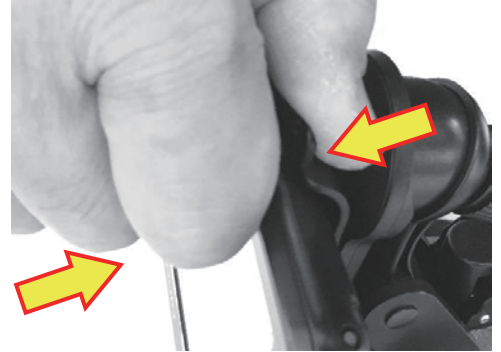
吸着ベースの表面をきれいにふき取りスタンドを置き、レバーを倒して固定する。

※形状、イラストは実物と異なることがあります。

※形状、イラストは実物と異なる
ことがあります。

④製品の固定

スタンドの下のツメに合わせ製品本体をカチッとロックする。
(上のツメがカチッとロックしたことを確認してください。)



※上のツメを親指で、はさむように強く押ししてください。
液晶パネル面には触れないようにしてください。

下のツメ部を合わせ上をロックする。

⑤角度調整

固定ナットをゆるめ、
お好みの角度に調整して
固定ナットをしめる。



※形状が異なる
場合がございます。

⑥設置

ドライブレコーダーのカメラの角度、
見やすい角度になるように角度に調整して、
製品の下部がダッシュボード面に当たるように
固定ロックナットを締めてください。

製品が動かない程度にしめてください。
(過度にしめすぎないようにしてください。
ロック機構が壊れる場合があります。)



《 注意 》

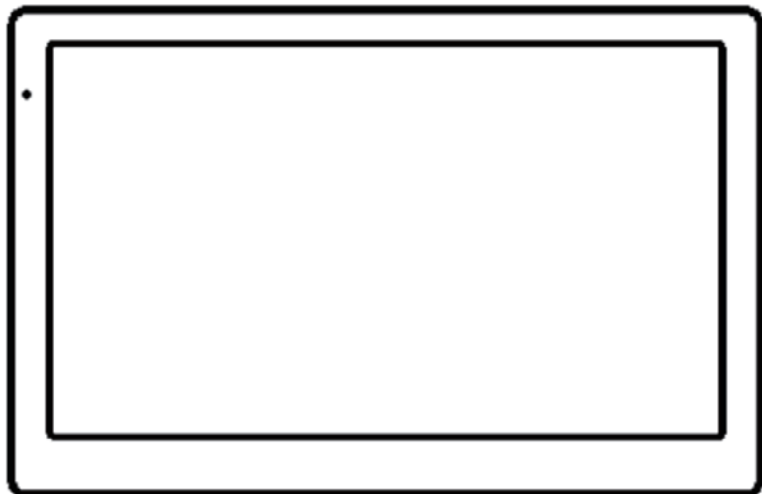
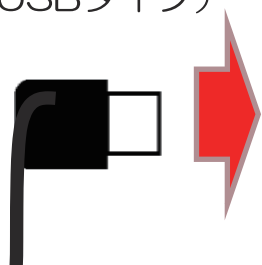
運転前に必ず、吸盤、固定ナット、粘着テープ、ロックが
確実に取付いているか確認の上ご使用ください。

※万が一、落下等による液晶、タッチパネルの破損がございましたも、
補償対象外となりますのであらかじめご了承願ください。

電源配線の方法

①DC電源アダプターの端子側面の電源ソケット（miniUSBタイプ）に接続する。

充電用端子
（miniUSBタイプ）

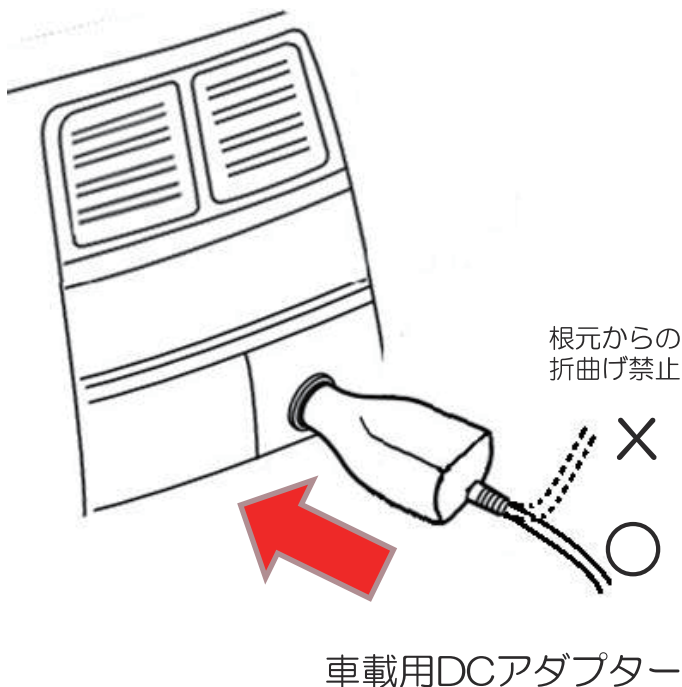


※本体への接続時、ソケットにストレスがかからないように接続してください。
プラグやソケットの接続不良になる場合があります。

② DCアダプターを
車のシガーソケットにさす。

※シガーソケットの中に異物がないことを確認してから挿入してください。
※DCアダプターは真直ぐにゆっくりさしてください。
※奥までしっかりとさして下さい。
※配線は運転に支障内容に配線してください。

※配線する場合は、アダプターの根元から折り曲げないようにしてください。
断線、発火の原因になることがあります。



※形状が異なる場合がございます。

8. 本体電源の取扱方法

電源のON/OFFの操作方法についてご案内いたします。

1. 車載用DCアダプターの使い方

本機は、お車のシガーソケット（DC12Vまたは24V）より付属アダプターを使用して、本体に5Vを供給し駆動します。

2. イグニッションキー連動電源ON/OFF機能について

本機は、電源の連動ON/OFF機能（オートスタート機能）を搭載しています。お車のシガーソケットに接続した場合、イグニッションキーのON/OFFで本体の電源も自動的にON/OFFができていへん便利です。

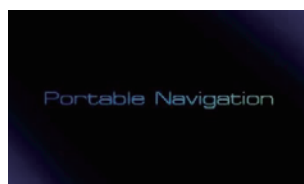
※シガーソケットの電源ON/OFFがイグニッションキーに連動しているお車に限ります。

※アイドリングストップ車の場合、エンジン再始動時に電源がオフする場合がございます。

3. 電源の入れかた／切りかた

<電源を入れるとき>

- ①電源ボタンを長押しする。
（約3秒間押し続ける。）
- ②起動画面が表示されます。
- ③しばらくすると
設定メニューが表示されます。



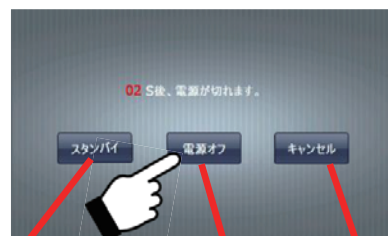
起動画面



設定メニュー

<電源を切るとき>

- ①電源ボタンを長押しする。
（約3秒間押し続ける。）
- ②終了画面が表示され、
約5秒後に自動的に切れます。
 - ・「電源オフ」を押すとすぐに電源が切れます。
 - ・「スタンバイ」を押すとスタンバイモードになり再度電源を入れるとき早く立ち上がります。
 - ・「キャンセル」を押すと元の画面に戻ります。



スタンバイ

電源オフ

キャンセル

※ナビ使用時に電源ボタンを短押しした場合、メニュー画面に戻りますが、他のモードに切り替える場合はナビを終了してから切り替えてください。

4. 充電のしかた

- ①車載用DCアダプターを接続します。（充電中は電源ランプが赤点灯）
- ②電源ボタンOFFにして充電を開始します。
- ③電源ランプが消えれば充電完了です。（フル充電時間約4時間）

※ご使用環境により変動します。

※充電残量が0になった場合、アダプターをつないでも電源が立ち上がらない場合があります。その際は電源OFF状態で、充電を十分におこなってから電源をいれてください。

9. ワンセグTV

9-1. チャンネル設定（スキャン操作）

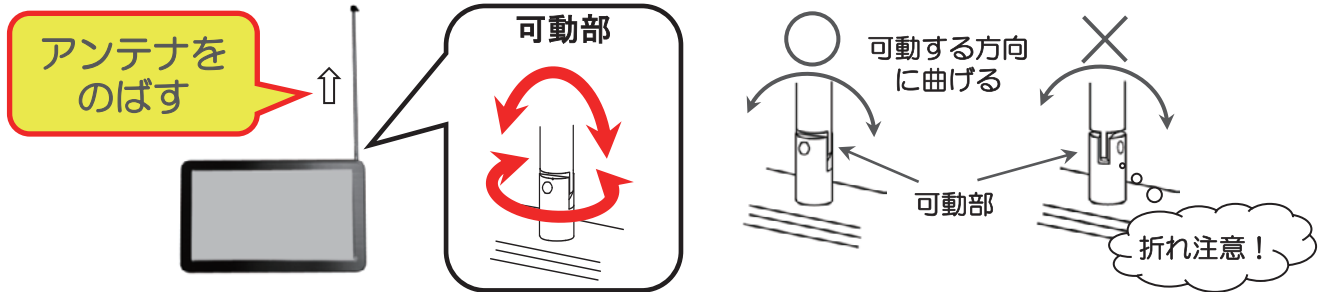
はじめてテレビをご覧になる前に、下記の方法でチャンネル設定を必ず行ってください。

①見晴らしの良く受信環境の良いところでアンテナをのばす。

アンテナは上部右側に収納されています。

引き出すときは、まっすぐにゆっくりと可動部が出るまで引き出して下さい。

しまうときも同様にまっすぐにゆっくりと押しこんで下さい。



※アンテナの回転方向を確認の上、向きをかえてください。

<注意>

※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。

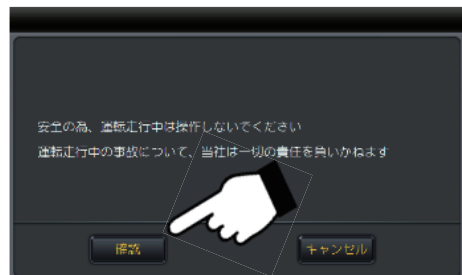
②「テレビ」をタッチ

メニュー画面から「テレビ」をタッチする。



③「確認」をタッチ

警告文が表示されますので内容を理解して、「確認」をタッチする。



④  をタッチ

お近くの受信可能な放送局を設定するためにスキャン操作を行います。

設定後は、地域が変わらなければこの操作は必要ありません。



※機種によりボタンのレイアウトが違う場合があります。

⑤ 「地域」を選択

ご使用される地域を選択します。

(選択せずにスキャンもできますが、地域を選択するとスキャン時間が短くなります。)
※放送協がうまく取れない場合は、「A11」を選んでスキャンしてください。

⑤-1 「地域」をタッチ



⑤-2 地域を選ぶ (例 関東をタッチ)



⑤-3 都道府県を選ぶ (例 東京をタッチ)



⑤-4 ご地域にある放送局を表示



※スキャン操作後に、実際に受信可能な放送局を表示されます。
(この時点では受信できない放送局も含まれる場合があります)

⑥ 「スキャン」操作

スキャン操作をすることにより、実際に受信可能な放送局をさがし設定します。

※スキャン操作をするときは必ず受信環境のよいところでおこなってください。

受信環境が悪いところでスキャンを行いますと放送局が設定されない場合があります。

⑥-1 「スキャン」をタッチ

受信可能な放送局を検索開始します。

⑥-2 「適用」をタッチ

スキャン完了後、適用を押すことにより放送局の設定ができます。



チャンネル
設定完了

スキャンが終わると
「スキャン完了」
が表示

お車等で長距離移動の場合、放送局のエリアが変わる為受信できなくなることがあります。その際は、再度新しい地域での再スキャン、もしくはA11で再スキャンをおこなってください。

9-2. ワンセグTVをみる

①チャンネルをかえる



チャンネル変更矢印（▲、▼）をタッチしてお好みのチャンネルに変更します。

- ▲：チャンネル（-）
- ▼：チャンネル（+）




②音量を調節する

・音量変更矢印（+、-）をタッチしてお好みの音量に調整します。
+：音量を上げる
-：音量を下げる

・  ボタンをタッチすると消音  になります。（音はでません。）



9-3 ワンセグTVの各種設定

「  」をタッチすると、各種設定を変更できます。

<設定内容>

- チャンネル：スキャン済みの放送局表示
- 基本設定：言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕
- ビデオ：画面のアスペクト比（画面の縦横比）の設定
- 情報：バージョン情報



9-3-1 設定「チャンネル」

「チャンネル」をタッチすると、受信放送局が表示されます。

チャンネル

戻る



受信した放送局

放送局を設定する際は、『9-1. チャンネル設定（スキャン操作）』（18ページ）参照願います。

9-3-2 設定「基本設定」

「基本設定」をタッチすると、**言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕** の設定ができます。

設定の仕方

- ①設定項目の「▼」をタッチします。
- ②現れた選択項目から項目を選びタッチします。
- ③項目が切り替わりします。
- ④選択後、「適用」をタッチします。

《言語》

設定画面の言語の切替ができます。

日本語 ⇄ English

- 日本語 : 設定画面が日本語で表示されます。
- English : 設定画面が英語で表示されます。

《音声チャンネル構成》

番組プログラムに音声チャンネルがある場合のみ、切換えが可能です。

主音声 ⇄ 副音声 ⇄ 二重音声

《音声スイッチ》

放送中の番組プログラムに音声スイッチがある場合のみ、表示が出て切換えが可能です。

オーディオ1 ⇄ オーディオ2

※放送番組により、「音声スイッチ」または「音声チャンネル構成」を変えることにより**二ヶ国語、副音声、ステレオ音声**（ステレオイヤホン使用時）をご利用できます。番組により音声切替方法が異なりますので実際に確認の上おたのしみください。

チャンネル変更する時は、**オーディオ1**に戻してから切換えてください。
（電源OFF→ONやテレビ以外の設定に切換えた場合は自動的に**オーディオ1**に戻ります。）

《字幕》

字幕放送のときに字幕を表示します。

無効 ⇄ 日本語

- 無効 : 字幕放送時の字幕は画面に表示されません。
- 日本語 : 字幕放送時の字幕は表示されます。



「▼」をタッチして
選択項目を表示する

9-3-3 設定「ビデオ」

「ビデオ」をタッチすると、画面のアスペクト比の設定ができます。

《アスペクト比》

画面サイズの調整ができます。

画面サイズ調整 ⇄ **レターボックス**

- **画面サイズ調整**：レターボックス画像の上下の黒枠をなくした画像（上下をのばした画像）
- **レターボックス**：横長の画面を上下に黒枠が出た状態で表示されます。



9-3-4 設定「情報」



「情報」をタッチすると、バージョン情報が表示されます。



9-4. ワンセグTV (EPG番組表)

EPG (電子番組表) をみる


EPG (電子番組表) でその日の番組内容を確認できます。

- ① EPG (電子番組表)  をタッチします。
- ② 左の番組の中から詳細を知りたい番組の  をタッチすると、番組情報が表示されます。
- ③ 右の番組予定表をタッチするとその番組の情報が表示されます。



お好みチャンネル

普段よく見るチャンネルを「お好みチャンネル」(♡)に集めお楽しみいただけます。

- ① 「EPG (電子番組表)  」をタッチします。
- ② 右のチャンネルリストからお好みの放送局の右の「☆」をタッチすると「★」に変わり表示されます。
- ③ 「♡」ボタンをタッチすると、お好みのチャンネルのみ表記されます。



9-5. ワンセグTV 録画／再生

※機種によりボタンのレイアウトが違う場合があります。

ワンセグTVを見ながらmicroSDカードに動画、静止画を撮ることができます。

ワンセグTVを録画／再生する

ご覧になっているテレビ番組を、micro SDカードに録画してお楽しみいただくことができます。

- ① 空のmicroSDカードをいれる。
- ② 録画したい時に「 ● 」をタッチすると録画が開始します。
- ③ 終了するときは「 ■ 」をタッチします。
- ④ 再生するときは、「 📁 」をタッチし、録画したデータを選び「OK」をタッチする。（放送局名、録画日時がファイル名になります）

※設定の「メディア」の中の「動画」で再生はできません。
「テレビ」の「 📁 」からご覧ください。



ワンセグTVを静止画／再生する

ご覧になっているテレビ番組の静止画を、micro SDカードに撮ることができます。

撮りたい画面のときに「 📷 」をタッチする

- ① 空のmicro SDカードをいれる。
- ② 静止画を撮りたい時に「 📷 」をタッチする。
- ③ 再生するときは、「メディア」⇒「写真」⇒SDMMC⇒Recorder⇒Snapshotをタッチし、録画したデータを選び「OK」をタッチする。（放送局名、録画日時がファイル名になります）



※「テレビ」の「 📁 」の中からは再生はできません。
「メディア」の「写真」からご覧ください。

10. ドライブレコーダー（Dレコーダー）

ドライブレコーダー（Dレコーダー）機能で前方画像をmicroSDカードにビデオ録画することができます。

※本製品には音声録音機能はございません。

録画時間目安はmicroSDカード（8GB）で約1時間です。

その時間以降は順次消去され新しい録画が記録されていきます。

※録画ファイルは、短い時間に区切って（1ファイル約120MB（約1分））複数のファイルに録画されます。

（撮影環境により録画時間は変動します。）

※録画されたデータは、いっぱいになると古いデータから消され上書きされます。

※録画中、下記の場合に録画中のファイルは上書き禁止になります。（保存したいとき、下記操作をする）








- 録画中に、上書き禁止ボタン「」をタッチした場合
- 本製品に衝撃が加わった時（Gセンサーが作動した場合）

「ドライブレコーダー」画面の説明

「ドライブレコーダー」画面上のボタンを説明します。

ドライブレコーダー
の画面



- ① 「」ボタン：各種設定をする。（設定モード）
- ② 「」ボタン：ドライブレコーダー画面を閉じる。（録画中は録画続行）
- ③ 「」ボタン：ドライブレコーダー機能を閉じる。（録画は停止）
- ④ 「」ボタン：録画中に押すとその時の録画ファイルのみ上書き禁止に（上書き禁止）になります。動画を残したいときに使用してください。（製品上部の上書き禁止ボタンと同機能→10ページ）
- ⑤ 「」ボタン：録画モード⇄再生モード切替ができます。（録画／再生切替）（再生モードでは録画しません。）
- ⑥ 「」ボタン：<録画モード> 明るさ調整（EV）できます。（-3～0～3）（上下）（再生モードではこのボタンは使用しません。）
- ⑦ 「」ボタン：<再生モード> 停止時：録画したファイルを選択します。（左右）再生時：再生速度調整できます。（1/8⇄1/4⇄1/2⇄1⇄2⇄4⇄8）（録画モードではこのボタンは使用しません。）
- ⑧ 「OK」ボタン：<録画モード>：録画の開始⇄停止ができます。<再生モード>：再生の開始⇄一時停止ができます。

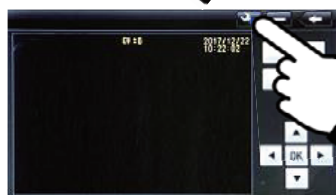
10-1 ドライブレコーダー設定

設定画面の説明

Dレコーダー設定では、録画時の設定をすることができます。

ドライブレコーダーの画面の設定ボタン（）をタッチすると設定画面に切替ります。

設定ボタン（）をタッチする。



設定画面が表示される。



※録画モードのとき設定ができます。再生モードになっているときは「」で録画モードにしてください。

① **フレームレート**： フレームレートの変更 50Hz⇄60Hzの切替。

信号機は高速で点滅しているためカメラと同期して消灯して録画される場合があります。

この場合は切り替えてお試しください。（地域により違います）

② **Gセンサー**： Gセンサーの感度調整 1.2G/1.6G/2.0G

衝撃を受けた時、録画中のファイルは上書き禁止になります。


1.2G：軽衝撃で動作します。

1.6G：中衝撃で動作します。


2.0G：強衝撃で動作します。

③ **自動録画**：「」をつけると、自動録画設定されます。

電源がオンすると自動的にスタート録画がスタートします。

④ 「」：設定を変更した状態でドライブレコーダー画面に戻る。

⑤ 「」：設定を変更せず元の状態でドライブレコーダー画面に戻る。

⑥ 「」（初期化）：工場出荷状態に戻します。

⑦ 「**フォーマット**」：ドライブレコーダー用アプリのフォーマット化します。

※初めて使用するmicroSDカードは、必ず初めにこのフォーマットを行ってください。